

老舗旅館の復活支援

専門コンサル会社と

アイフルG

消費者金融のアイフルは、グループ会社を通じて日本の伝統を引き継ぐ地方の宿泊施設の再生プロジェクトを始めた。地方には急増するインバウンド（訪日外国人観光客）需要を取り込めず、

廃業に追い込まれる老舗旅館が今も少なくないという。親会社が積み上げたノウハウを地方の宿泊施設の再生に生かしていく。

企業再生コンサルティンクを手がけるアストライパートナーズ（東京・港）は、日本の伝統宿向けに特化した経営コンサル

ルを提供しているリバテイー（静岡市）と業務提携を結び、今年8月末から再生プロジェクトを始めた。

主に経営難にある地方のホテル、旅館が対象になる。アストライは債務の借り換えやスポンサーの選定など財務支援を実施。リバテイーは集客力

の底上げを支援したり、経営改善をアドバイスする。アストライは201

6年、北陸の老舗旅館の再生支援を完了させた実績をもつ。

今年10月には甲信越地方の宿泊施設が再スタートを切る予定。親会社の

アストライ債権回収と連携し、じわりと実績が積み上がっている。